

## 出版情報

書名・件名	厚生白書（昭和33年度版）
副書名	厚生省創立20周年記念号
編集者・監修者	厚生省
所在地	東京都千代田区霞ヶ関1-2-2
国名	日本
郵便番号	100-0013
電話番号等	03（3503）1711
発行日	昭和34年12月20日発行
価格	250円

## 厚生白書の発表に際して

わが国には生産を中心とした行政に当っている省は少くありませんが、生活者、消費者としての国民の生活を対象とした行政を担当する省は、厚生省以外にはありません。このように、厚生行政とはあまねく国民の経済生活を保障し、その日常生活のあらゆる部門についてその改善と向上を図る唯一の行政機関であります。したがって、私は、常に、国民の日常生活と最も身近なつながりの上にある立場を自覚して事に当るよう心がけている次第です。

申すまでもなく、国民生活の内容というものは、時代とともに進展するもので、戦後における厚生行政の内容自体もまた、この進展に応じて次第に発展し、成長して現在に至っております。国民皆保険、国民年金などの一連の社会保障や、その前提とも考えられる公衆衛生、その補完となるべき社会福祉の各部門は、これまでの国民的努力を背景として、厚生行政としては一応の形を整えつつあるということができましよう。したがって、今後の施策の方向は、その拡充強化と総合的運用に努め、国民生活の合理化と、健康と福祉を守るために一段の努力を傾注することにあると考えています。

いうまでもなく、民主国家は国民的要請を施策の基本にしなければなりません。そのためには国民の欲求するところを察知して、その充足を図ることに格別の努力が必要であります。いまや国民は、健康と生活の安定を要求するとともに、生活内容の改善向上にも高い欲求を示しつつあります。たとえば、主婦の日常生活物資の価格、品質などに及ぶ深い関心、また、都市における清掃施設、農村における給水設備など環境衛生施設の整備等についてもそれぞれ強い要望を持つようになり、さらに国立公園利用度の急激な増大など、国民的な要求の方向がはつきりと読み取られるのであります。しかしながら、この要望に対応する現実面においては、遺憾ながらまだ不均衡、不合理の山積していることを認めなければなりません。真の国民福祉の到来には、これらの打開がなければならないのであります。

これを要するに、厚生省は、絶えず進展する国民の欲求と利益に奉仕すべき存在であり、その意味では生活者としての国民の利益を代表し、国民の保健と福祉のために社会保障と公衆衛生、ならびに社会福祉の計画的、かつ効率的一体的運用に当らなければならない任務を負うもので、その責任は重かつ大であることを痛感いたします。なかんずく、社会保障、公衆衛生、社会福祉の三者は、これを総合的に運用しなければその効果を期待し得ない関連性を持つものであるだけに、一層の努力精進を期している次第です。

白書の発表に際し、厚生省の特質とその任務についての所懐の一端を述べる次第であります。

昭和三十三年一月二日 橋本 龍伍 厚生大臣